

# はじめに

文法問題や解釈問題は得意でも、英作文問題を苦手とする受験生は多いものです。英作文問題の難しさは「豊かな語彙力」と「正確な文法力」だけでなく、「日本語を読み換えて意識する発想力」まで要求される点にあります。本書は、そのような英作文を苦手とする受験生を対象にして書き下ろしました。英作文問題を解くためには「何を、どのくらい、どのように」学習していけばよいかという具体的な戦略（ストラテジー）を中心に据えており、本番の試験で合格点が取れる実力を養成するための問題集です。効果的に英作文の実力を向上させるために、本書は以下のコンセプトに基づいて作成しました。

## (1) 受験生が繰り返し犯しやすい誤答例から出発する

予備校講師として長年にわたり英作文の添削をしてきた経験からわかったことは、受験生のミスには共通したパターンがあるということです。本書は、そのような「受験生が繰り返し犯しやすい誤答例」を真面目に収集・分類したデータに基づいて執筆しています。あくまでも、受験生と同じ目線から出発することを最優先しました。「受験生が繰り返し犯しやすい誤答例」を知り、それを回避することこそが、合格答案を書くための最善の方法なのです。

## (2) 正しい英語を書くことで減点を最小限に押さえる

ネイティブのように自然な英文を書くことは確かに理想です。しかし、大学入試の英作文問題に限って言えば、「自然な英文を書く」ことよりも、「やや不自然でも文法・語法的に正しい英語を書く」ことの方が大切です。自分の書いた英語が正しいかどうかを、受験生がセルフチェックできれば、減点を最小限度に押さえることができ、合格答案に一步でも近づけるからです。

## (3) 基本例文を理解して、覚えて、活用して答案を書く

「とにかくたくさん覚える」という方法論は無意味です。大切なことは、本番の試験で自由に使いこなせる基本例文を覚えることです。そのためには、まず最初に基本例文のポイントを正確に理解した上で覚えなければなりません。このような「理解する→覚える→活用する」という一連の学習が効果的・能率的に行えるように、本書では基本例文に関しても詳しく解説しています。丸暗記してもすぐに忘れてますが、きちんと理解したことは忘れにくいものです。

ここでは日本語を英語に訳す基本的なプロセスを確認しよう。どんな英作文問題でも原則として次の手順で考えていけばよい。

- 【1】 主語 (S) を設定する  
↓  
【2】 述語動詞 (V) と文型を設定する  
↓  
【3】 修飾表現を処理する  
↓  
【4】 英文を連結する

## 【1】 主語 (S) を設定する

(1) 英語には原則として主語 (S) が必要。英作文を行う場合、まずは「主語を何にするか？」を考えよう。主語の設定は3パターンに大別できる。

- a) 日本語の主語をそのまま英語でも使える場合
- b) 日本語の主語をそのまま英語で使えない場合
- c) 日本語に書かれていない主語を補って英語を書く場合

### a) 日本語の主語をそのまま英語でも使える場合

例 「母がこの時計を私に買ってくれた」

日本語の主語である「母が」をそのまま英語でも主語にして、**My mother** bought me this watch. とすればよい。

### b) 日本語の主語をそのまま英語で使えない場合

例 (相手に向かって…) 「朝食は食べるべきだ」

「朝食は」が主語に見えるが、発言の状況を考慮して **You** should have breakfast. 「あなたは朝食を食べるべきだ」とする。日本語の「…が/…は」が常に主語になるとは限らないことに注意。

### c) 日本語に書かれていない主語を補って英語を書く場合

例 (お金があるかどうか聞かれて…) 「500円あるよ」

1. 彼は今朝そこに着いた。  
(×) He reached there this morning.

## 解答解説編

1. 彼女は大学を出るとすぐに幼なじみと結婚した。

- (×) As soon as she graduated college, she married with a childhood friend.  
 (○) As soon as she graduated from college, she married a childhood friend.

graduate は自動詞で、marry は他動詞。marry A 「A(人)と結婚する」や graduate from A 「Aを卒業する」のように動詞はフレーズで覚えよう。

2. 私の家族は5人です。

- (×) My family is five people.  
 (○) There are five in my family.

「家族(集団) = 5人(人数)」という関係は成立しない。「家族の中に5人いる」と考えて「There 構文」を使う。第2文型(SVC)で補語(C)が「名詞」の場合は、厳密に「S = Cの関係」が成立しなければならない。

例 「彼の職業は教師です」

- (×) His occupation is a teacher.  
 →「彼の職業(行為) = 教師(人)」の関係は成立しない  
 (○) He is a teacher.  
 →「彼(人) = 教師(人)」の関係は成立する  
 (○) His occupation is teaching.  
 →「彼の職業(行為) = teaching(行為)」の関係は成立する

3. 彼の話は本当に思われたので私は信じてしまった。

- (×) His story sounded truth, so I believed.  
 (○) His story sounded true, so I believed it.

10. ベルギーのお土産にチョコレートを買ってきて欲しい。

- (×) I want that you will buy some chocolate for me as a souvenir from Belgium.

## 解答解説編

問1 (1) 私は自分に自信がもてなくて悩んでいる。(2) この自信のなさをどうやって克服したら良いのだろうか。(3) 私はこの問題に何年も取り組んできて、(4) 少しは良くなったのですが、(5) それでもまだ私には深刻な悩みなのだ。(岡山大)

### 解答例 1

I am worried that I am not confident in myself. I wonder how I should overcome this lack of confidence. I have been working on this problem for many years, and I have become a little more self-confident, but it still worries me seriously.

### 解答例 2

I am worried about not having self-confidence. How should I solve this problem? I have been trying to improve the situation for many years, and it has become a little better, but it is still a serious worry for me.

#### ＝解説＝

(1) 私は自分に自信がもてなくて悩んでいる。

●「…を悩んでいる」は worry about A, be worried about A, worry that SV, be worried that SV を使う。本問の文脈では「私の悩みは一時的なものではない」ということは明らかなので、「普遍的、一般的、習慣的な事実」を表す現在形を使うのが適切 (▶p46 参照)。

●「Aに自信を持つ、Aに自信がある」は have confidence in [of] A, be confident in [of/about] A なので、「自分に自信が持てない、自分に自信がない」は have no confidence in myself, don't have (any) confidence in myself, be not confident in myself と表現すればよい。あるいは、名詞 self-confidence や形容詞 self-confident を

49. 彼はその会社に就職した。

(×) He got a work with the company.